

# 平成29年度一般財団法人富山県バスケットボール協会 第2回理事会 議事録

- 1 開催日時 平成29年7月3日(月) 午後7時05分から午後8時03分まで
- 2 開催場所 富山県総合体育センター会議室
- 3 理事総数 24名
- 4 出席者
  - (1) 出席理事17名 荻原隆夫、牧田和樹、山崎 均、松倉弘英、丹羽昭雅、廣川知巳、構富士雄、杉本賢二、重原 裕、柴田 宏、清水久資、濱住知明、酒匂博臣、白江成吉、小坂龍人、堀内隆志、柳瀬雅之、
  - (2) 欠席理事7名 野上浩太郎、深松篤夫、松倉恒輔、松井昭博、大谷孝行、松元健悟、黒田 祐
  - (3) 出席監事 岩崎 修
  - (4) 出席事務局 山木葉子
- 5 議 事
  - 第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会スポーツ医科学委員会委員の委嘱について
  - 報告事項
    - (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について
    - (2) 富山県社会人バスケットボール連盟設立準備委員会の状況について
    - (3) 全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンド準備委員会の状況について
    - (4) 富山県選抜チームセレクションについて
    - (5) 各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について
  - その他
- 6 会議内容
  - (1) 会長代行挨拶(荻原会長代行)

去る6月3日の評議員会において、新たな体制がスタートした。先月インターハイ予選が行われたところであり、優勝校には全国大会での活躍を期待している。また、北信越大会に出場した6校全てが初戦敗退との結果であったが、今後、各校の奮起を期待したい。

このほか、本県出身の馬場君は東アジア大会での活躍、八村君はエジプトで開催のU-19で活躍するなど、2020年東京オリンピックに向けて明るい話題である。

本協会は、これらの状況を踏まえ、円滑な組織運営と選手の強化に努めていきたいと挨拶があった。
  - (2) 理事会成立

構常務理事が理事の出席状況として、理事総数24名中、出席理事14名(終了時17名)であり、定足数を満たしているとの報告があった。
  - (3) 議事の経過の要領及びその結果

議長は定款第35条の規定により、荻原会長代行が選出され、議事進行を務めた。

◆第1号議案 一般財団法人富山県バスケットボール協会スポーツ医科学委員会委員の委嘱について

議長から説明が求められ、松倉専務理事がスポーツ医科学委員会委員を追加して委嘱する原案を説明した。特に質疑もなく、賛否を諮ったところ出席理事の全員一致で可決した。
  - (4) 報告事項

◆会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について

松倉専務理事から定款第27条第6項の規定により、会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について報告があった。

◆富山県社会人バスケットボール連盟設立準備委員会の状況について

白江理事から、資料に基づき連盟の12月設立に向け、準備を進めているとの報告があった。このことについては、迅速に準備を進めるよう意見があった。また、6月8日の一般チームを対象とした説明会への出席状況についての質問があり、57チームが出席、3チームが欠席したと説明があった。今後の連盟役員については、地域バランスや加盟チームからの登用等を考慮して進めるよう意見があった。

◆全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンド準備委員会の状況について

柴田理事から、資料に基づき準備状況について報告があった。T.O.（男子ゲームでは8人体制、女子ゲームでは6人体制）は、どのくらいのチーム数が必要となるのかとの質問があり、9月16日が5チーム、9月17日が5又は6チーム、9月18日が2チームとの説明があった。また、予算的にJBAの計上分で対応できるのか、T.O.謝金はいくらかとの質問があり、審判経費は全てJBAで処理することとなり、その他の経費について対応できる予算を組むとともに、T.O.謝金は1人3,000円を予定していると説明があった。

◆富山県選抜チームセレクションについて

酒匂理事から、セレクション結果の報告があり、成年男子については、資料に加えて1人（愛知学泉大学出身の石井氏）を今後の選考に加えていくとのことであった。

成年女子については、資料提示はないが18人のエントリーの中、5人が欠席した。今後、学生を含めて本国体の申込時期までに選考する。なお、ふるさと登録の該当者については、精査するよう意見があった。

少年男子については、資料のとおり12人のほか予備登録選手と次年度に向けた練習会参加選手を選考した。

少年女子については、高岡第一高校から9人エントリーし、そのほか3人を龍谷富山高校から選考する予定とのこと。

北信越国体に向けた最終選考は、7月18日頃までに取りまとめるとのことであった。

◆各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について

- ・杉本理事（総務）から、平成29年度賛助会費について依頼したので協力願いたいとの説明があった。
- ・濱住理事（審判）から、審判活動の情勢について資料に基づき説明があった。
- ・白江理事（一般）から、天皇杯・皇后杯の1次ラウンド実施しており、7月16日が最終日との説明があった。
- ・小坂理事（高校）から、環日本海インターハイの開催、今年度ウインターカップの使用球、平成33年にブロック内でインターハイが開催されることにより、北信越大会の開催年が変更される予定などの説明があった。
- ・堀内理事（中学校）から、県中学校選手権の開催、リーグ戦の検討中、ミニバスとの連携検討などの説明があった。
- ・柳瀬理事（ミニバス）から、県スポーツ少年団大会の結果、全国大会の名称変更と会場変更、JBA登録していないチームでの活動内容へのクレームに対し処理したとの説明があった。

(5) その他

- ◆松倉専務理事から、B.LEAGUEにおけるU-15についての説明があり、暫定措置として3年間所属チームと兼ねて編成できるので、対応するよう説明があった。

本理事会の議案等全ての審議が終了したので、午後8時3分に構常務理事が閉会を宣言し解散した。